



# 親しみのある制度へ

## 「町役場「グループ制」の評価」

町は、多様化、高度化するニーズに各職員が責任を持って素早く対応し、かつ政策づくりができる体制を目指すため、平成15年4月からグループ制を導入しています。

しかし、グループ制については、導入当初から「カタカナ用語になじめない」「担当窓口がわかりにくい」といった意見が多いのも事実です。

そこで今回は、町役場のグループ制について、町民のみなさんにご意見を伺いました。



横山 明子さん  
(下北迫・折返)

町のエキスパートであってほしいし、組織をどうこうというよりも「やる気」が大事なのではないでしょうか。

町組織については、小さな町なのでグループごとに分けるのではなく、町民に優しい役場であってほしいです。  
それには、役職の呼称も「課長さん」「係長さん」の方が親しみを感じると思います。  
そもそも役場職員は「広野



役場内に設けられている「総合案内」



水竹 顕二さん  
(上浅見川・切通)

グループ制を導入し、はや7年目を迎えようとしているが、小生を含め町民の大多数の方が、未だなじんでいないのが現状では？

従前の縦割組織の弊害も各課間のコミュニケーションまたは各所属長会議等を取り上げれば解消されるのでは？

町民のためにも、なじみのある制度に戻した方が親しみも増すのでは？  
県でさえグループ制を見直したわけですから。

## 編集後記

暖冬かと思つていたら予想に反して寒い日が続いています。けれども、木々の枝先では春に向けて力強く芽が育つていきます。

自然の偉大さと生命のたくましさを感じて感動の瞬間です。さて、先日の成人式では、新成人の意見発表に心打たれました。

こんな時代にあつても、「決して社会や人のせいにはせず、精一杯努力して、自分たちの夢や目標を実現していきたい」という立派な志を持つた若者が育っています。

人間もたくましく時代をつないでいると感じつつ、彼らに幸多かれと祈る年の始めでした。(塩)



たわわに実ったみかん  
(中央台・みかんの丘)

- 発行・編集責任者
- 議長 坂本紀一
- 広報委員会
- 委員長 中津伸一
- 副委員長 渡邊正俊
- 委員 鈴木紀昭
- 委員 塩 史子
- 委員 渡辺久長
- 委員 鈴木正範
- 委員 遠藤 智

次の定例会は3月です